

# 平成21年シラス情報(6) - 6月以降の漁況予測

平成21年6月9日  
 静岡県水産技術研究所漁業開発部資源海洋研究室  
 TEL054-627-1817

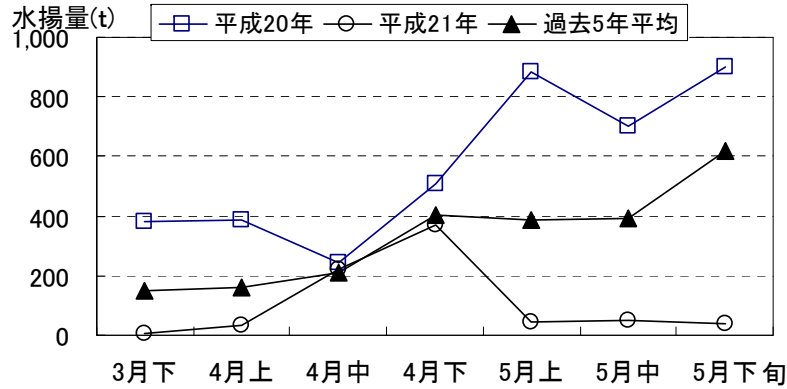


図1 シラス初漁期の漁況

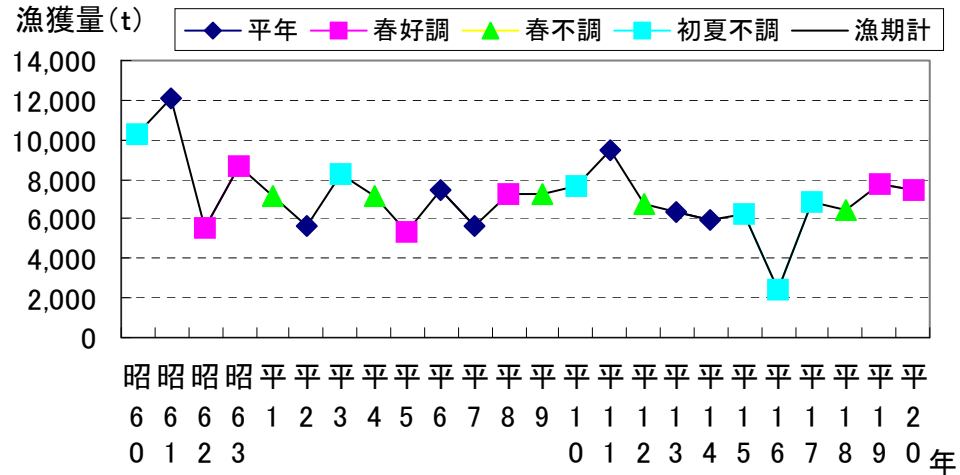


図2 主要6港シラス漁期漁獲量の経年変化と漁獲パターン

- ・3月～5月までの漁獲量(主要6港)は765トンで平年(2,155トン)を大きく下回った。旬別にみると、4月中～下旬が平年の92～107%であった以外は、平年比20%以下と低調であった(図1)。
- ・この漁獲パターンは春不調パターンに分類される(図2)。春不調パターンの年間漁獲量は約7,000t (6,500～7,300t)となっている。

・【6月以降の今漁期の漁況予測】過去の春不調の漁獲パターンからみて、5,700～6,500tと予想され、今後の漁況好転が見込まれる。しかし、カタクチイワシの卵仔魚の発生が悪ければ、あるいは黒潮の離岸状況によっては4,000t台の可能性もある。6～8月上旬まで比較的高い漁獲が続き、9月下旬ごろにも盛期が現れるだろう(図3)。

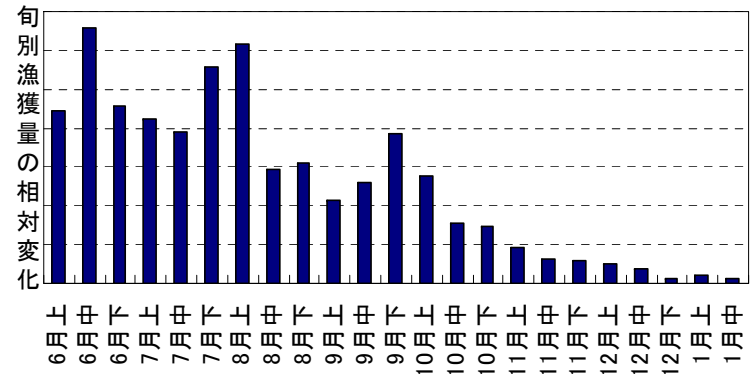


図3 春不調パターンの6月以降の旬別平均漁獲パターン